

I (50点)

小児医療体制の維持困難

- 患児数の減少により、小児専門病院や診療科の経営が厳しくなる。
小児科医・看護師の確保が難しくなり、地域格差が拡大。

家族支援の複雑化

- きょうだいが少ないため、患児の孤立感や親の負担が増加。
親の育児・介護負担が集中し、心理的ストレスが高まる。

医療の高度化と集中化

- 少子化に伴い、希少疾患や高度医療のニーズが増加。
専門医療が都市部に集中し、地方でのアクセスが困難。

社会的影響

- 子どもの入院時、祖父母や親戚の支援に頼るケースが増加。
保育・教育との連携が重要になるが、制度整備が遅れている。

看護の課題

- 家族中心ケアの重要性が増す（きょうだい支援、親のメンタルケア）。
少数家族では、患児の社会性発達を支援する看護が求められる。

II

問1 姉の心理状態と背景要因 (20点)

- 心理状態：不安、孤独感、嫉妬、自己価値の低下。
- 背景要因：
 - 親の注意が弟に集中し、姉への関心が減少。
 - 病気や治療に関する情報不足による誤解や不安。

問2 倫理的視点 (30点)

- 自立尊重：姉のニーズにも配慮。
- 無危害：プライバシー尊重：姉の感情や意見を尊重し、無理な共有を避ける。
- 善行：患児、きょうだい、家族に適した最善の方法をともに考える。
- 正義：きょうだい公平にニーズを考慮する。